

2 再生の必要性

名古屋都心部・栄地区のまちづくり

名古屋大都市圏の中核として魅力と活力にあふれた都心の形成

名古屋都心部においては、リニア開業を見据えて、名古屋駅地区や栄地区などの拠点ごとに、地域の特性を活かして名古屋の顔となるまちづくりを行うとともに、各拠点を有機的に結びつけることにより、都心部内の回遊性や都市機能を相乗的に高めていくことが求められます。

名古屋駅地区と栄地区は名古屋都心部の2つの中心核を形成していますが、名古屋駅地区は、超高層ビルが密集し、駅周辺に人の流れが、集中している一方、栄地区は、商業施設・文化施設が面的に集積しており、広範囲にわたって、人の流れが見られるという特徴があるため、機能分担を図りながら2つの中心核を相互に高める必要があります。

最高の時間と居心地を提供する『栄まると感動空間』の創出

栄地区においては、名古屋駅地区との機能分担を図りながら、豊かな公共空間や商業・文化・娯楽などの集積、個性的な界隈の存在を生かしたまちづくりに取り組んできました。

このような状況を踏まえ、久屋大通をはじめとした公共空間の再生・活用や民間再開発等による都市機能の導入などによって、ウォーカブルでにぎわいにあふれるまちづくりを行うとともに、魅力的な界隈形成やエリアマネジメントの推進などを通じて、栄地区の更なる魅力向上が求められています。





栄地区・久屋大通の再生

都心のシンボル空間として、多くの来訪者や市民が 集い、憩い、ふれあう、栄地区を象徴する公共空間の再生

都心部の将来像の実現に向け、拠点のひとつである栄や、これを南北に貫く久屋大通にあっては、以下の役割が期待されます。

- ①名古屋城築城以降の城下町時代から続くゆとりある都市空間や、日本初の集約電波塔である中部電力 MIRAI TOWER と合わせ、名古屋の戦災復興の象徴としての空間を継承
- ②広小路通をはじめとした名古屋駅～栄をつなぐ東西軸との結節点として、国内外からの来訪者を都心に呼び込み、新たな創造を生むイノベーションハブとして、栄地区の文化・芸術・歴史・憩い・賑わいなど多種多様な特徴のあるエリアに集う人々との出会い・交流を促進
- ③三の丸・大須などの拠点間を南北方向にシームレスにつなぎ、都市の魅力とそこに集う人々の活力にあふれた名古屋大都市圏の中核たる都心を形成

久屋大通の再生は、栄地区における公共空間の再生を実現するための主要な事業として位置付けられており、令和2年度に「Hisaya-odori Park」として開園した久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア）に引き続き、南エリアの再整備を進めることにより、栄地区全体へにぎわいを波及させていくことが求められています。

久屋大通に期待される役割

①「歴史をつなぐ」



出典：昭和の名古屋

②「人をつなぐ」



GLOW Pitch on GLOW TECH NAGOYA

③「まちをつなぐ」



出典：栄地区グランドビジョン（名古屋市）